

9月4年 二〇 神多...

中符

可春

國久

都

九一
中
右
左
中
右
左
中
右
左

三島

海契觀音崎燈基... 成當... 坪燈...

有之... 左... 中... 右... 中... 右... 左... 中... 右... 左...

此者乃... 望

神志川縣

河... 十...

第... 年

外國友

第... 年

當以本文... 後... 存... 港... 江... 運... 之... 集... 外... 集

一燈... 亮... 借... 圖... 標... 查... 核... 存... 之... 旨... 政府... 下... 有... 之... 如... 集... 以... 上

別紙

己丑月

一 各國公傳書翰

以手紙致啓上之極、浦賀親音時及ハ安房時

高禮為一紙、付別紙布告書、通差進上

委印右之口、申知各國人民、ハ申布告書、極

為模範、交為、極、越、可、以、名、如、此、口、産、上、上

己丑月 日

东久世中将

各國公傳

閣下

同文、越、刺、在、事、上、上、傳、上、上、各、國、公、傳、上、上

別紙

航海家より報告書

明治二年一月五日即ち八百六十九年正月二月
十一日以来江戸湾口一観音岬、標燈を
掲ぐ

右差極大芽三考、属一、其種類を因る
一、光線を屈折返り多りの而して其光
射を航海里十四里、遠一三百零二度一
角度を改は但一方減く南二十三度西
小二十九度西とす

右標燈の位置左に如し

小緯 之標を度於四分四秒六分

経度東經百三拾九度三十分九分

燈高大海上百九拾六尺

右燈を石塔石装の屋上方構より上面に照
はりモウツ巖^{アシカ}より方針南十六度西、高さ二重
七角、距離三ツ里

千八百六十九年

正月廿日

海上に於て
造船所長

ワ、エル、ニ、イ

別紙

航海家より報告書

安房領野高岬に燈塔建築中回所本表
削白より高橋段取手係に標燈を掲げ揚
所在左に如し

小緯

三指四指五指六指七指

緯度東緯

百三指四指五指六指七指

橋高大陸上

七十尺

右果概し芥四多、屬し、種類、固着し、
光線を屈折するもの而して、光射し、航海甲
九里小遠し、二百指を度し、角度を改行但し
小七指を度し、東より小七十五度西にあり
メラし、暗礁を方緯南八十五度西四里、距離
二列は此方向にあり、是は、遠照し、標燈を掲
げ、光線を十六里に達し、二十度を角度
あり



千八百六十九年二月二十日

横須賀造船所首長
エル、ウエルニ
右日本政府ノ命ニ依テ布告ス

3-2188

0384

国文言

佛蘭西公使

メキシコウートル
アキト

国文言

亞米利加合衆国公使

アルビオン
スルケボルグ
アキト

国文言

獨逸北部聯邦公使

ブラゼブラ
アキト

国文言

伊太利亞公使

コロンテラ
アキト

寫濟

右国文言

梅田大助

井関高太郎

寺島陶藏

和名他同士

ダブリエスシデルタク貴下

葡萄候同士

エドワルドロレーロ貴下

陽西同士

エウキシーベル貴下

白身義同士

ジーゼンヒース貴下

丁持同士

イーバビール貴下

別紙

ウエルニより見たる布告書之様

航海家ト之布告書

安房領所之岬之燈塔是建築中國之
本製石白之高橋成後亦仍之標燈
揚く橋之所在在之也

北緯

三十四度五十二分二十秒

経度東經 百三十九度五十分
ギリニヤ

樓高六階上 七十尺

右器械之第四号之属一之徑路之固
着こゝる光線を屈折せしめたる
光射之航向里九裡ありて一
之角度成成之也一也七十三度
北七十三度西と云る

之の暗礁之方航向半五度西四里
距離之列之方航向一列之也



於此を指くは光線を十六里に達
すや角を度す

明治二年之春昂より百十九年分月
十一日少東江を渡りて親善岬に標燈
を揚ぐ

右器械を等三昔に属し其種類は因
着し其光線を屈折返照せしめ
而して其光線を船海に十四里に達

三百零二度之角度を成す但一方儀
は南二十三度西より二十九度西に在る

右標燈之位置左に如し
小緯 二十五度四分四秒
経度東経百二十四度二分九分

標燈より南に百九十九度
右標燈より南に百九十九度
より七十九度南緯を方針南に百九十九度西に南

二里七合之距離三何の

五ノ百五十九年
二月

阿上之慈と母を
造如陽日長並
ラエルニイ

3-2188

0390

此乃乃の事なり

此乃乃

了りたす 判事

判事

判事

3-2188

0393

馬濟

別紙

航海者之為之布告

江戸湾之内サルトカスピトノ西頭測標
取付之事以日本政府此言以て布告を

測標を赤色ニ塗たる鉄を以て製造し且
水上十ヒド竈を以て覆はせ

右測標を水中九尋之所ニ取付事有之
其西側ニ接し航し得べし

右メソングリンフリウフトリ南二十六度東
島より北六十度半東及びカニンシガキ燈明
臺より北四度西有り右ノ方位物志而相違

無事済む事

命に依り

日本政府

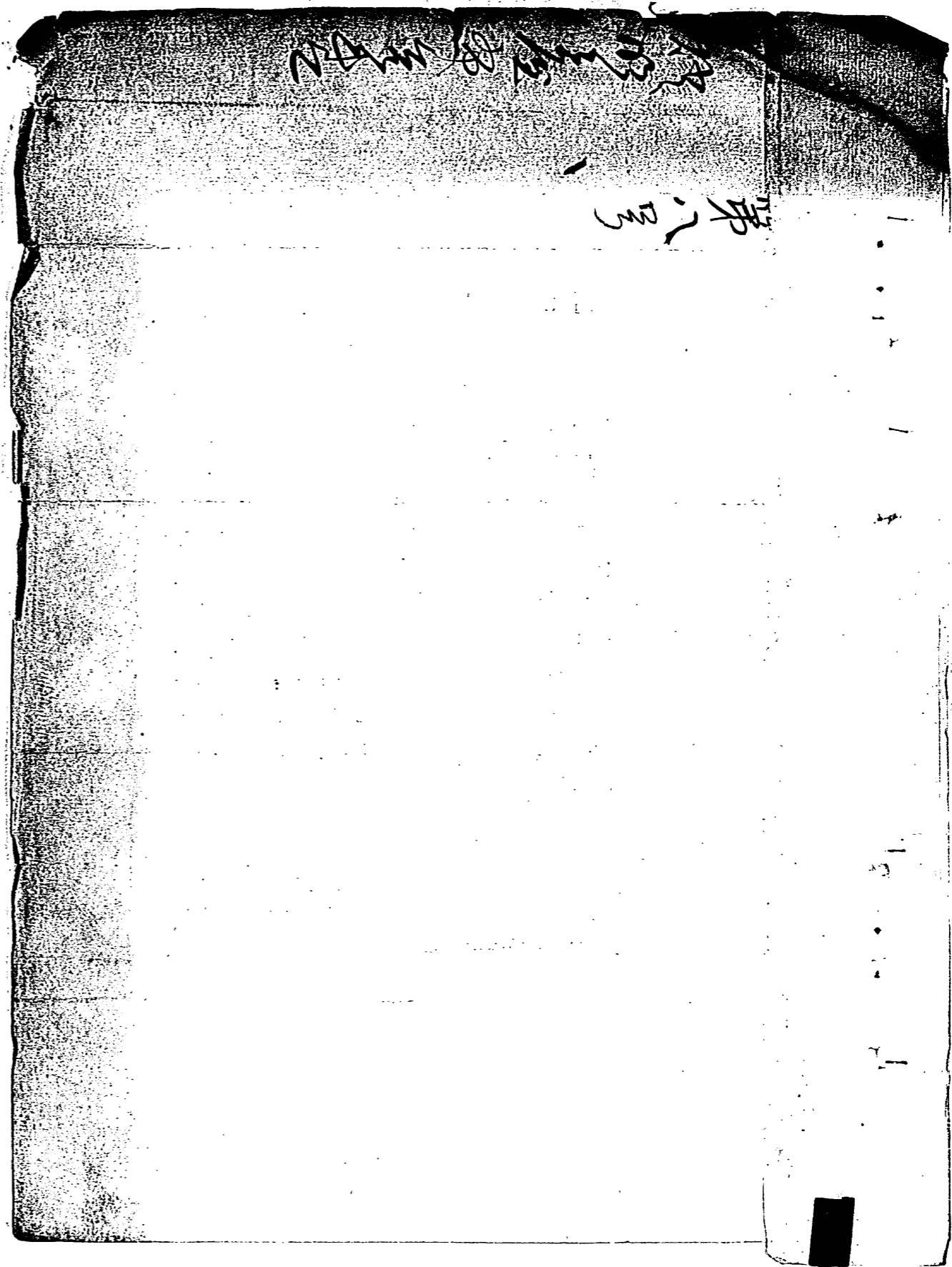
機軸方

千八百六十九年
三月二十日

アムステルダム

3-2188

0395



3-2188

0396

NOTICE TO MARINERS.

Notice is hereby given that a Buoy has been moored on the Western Extremity of SARATOGA SPIT, in the Bay of Yedo.

The Buoy is made of iron, painted red, and is surmounted by a cage, which stands ten feet above the water.

It is moored in nine fathoms of water, and may be rounded close to the westward.

It bears from Mandarin Bluff, S. 26° E.; from Perry Island, N. 60½° E., and from Kannonaki Lighthouse, N. 4° W. All bearings are true.

By order,

R. HENRY BRUNTON,
Engineer to Government of Japan.

Yokohama, March 20th, 1869.

14. 5. 7
14. 5. 8

3-2188

0397

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a document or letter. The text is written in a cursive style (sōsho) and includes a circular seal (mon) on the left side.

Vertical text on the right side of the page, possibly a date or a reference number.

3-2188

0398

以自致致及之然于貴國政府之機
 械方ブロントン氏向者新式銃之以觀
 吾等之於此處集結之時一既用立
 之於此處起布者之致之致之在於此
 甚之位之如何之而之我及之於此
 如何之操操之如何之我及之於此
 我國コニシルニ於之未之之海高
 之致之變之右之我智之船之立之最
 要之事情之付速之變之之布之
 之右之條之委細之報之之度之右
 趣可謂之甚之以上

福乙北部聯邦公使

第三月第三十日

フオインブランド

東之世中將
閣下

三〇八 二月三日 神多事

中納言
中納言
田中
莊藏

小一郎
忠正
岩正
岩司
真之介
主馬

寫濟

浦賀親音及及方野
燈四甚家平富津浮橋
各固言布告者格又公事

小舟以福町田五位
分我之通以箱法
公使其公使
相送中
有之

3-2188

0400

其心成以事有之ハアミカ島を
海驢島有之ヲ移文不其之箱
抄之進中ノ也

三月廿日
神奈川縣
武友事

外國友
判事法事

3-2188

0401

校合済

上

己巳七月

兵部省 外務省

出申

今般撥陸海軍部海軍部海軍部海軍部
日三時下三時四十分海軍部海軍部海軍部
海軍部海軍部海軍部海軍部海軍部海軍部
海軍部海軍部海軍部海軍部海軍部海軍部

第五号

大目

前同文書 外務省

府知事

3-2188

0402

二月廿五日

寫濟

今般按臣等奉命出使
 第一日美... 國... 然...
 諸... 國...
 日... 木...
 先... 皇...
 以... 皇...
 深... 皇...
 日... 皇...
 仰... 皇...
 物... 皇...
 日... 皇...

3-2188

0403

月
辭官
甲
外郎

3-2188

0404

寫

一七三三

○大子

○大子

馬
大子
大子

大子
馬

長澤の...

...

...

...

...

日

大子

...

...

3-2188

0405

五月廿七日 申子子

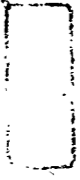
高濟

下之國兼檢原者以爾探出据附泰
以布告之候之申進以取其御覽
公使申其出有今丁以進極申取
兼知向以別京書即命給以校旨進
以以担其余之申使申者為其申進

高濟相違兼一取申丁以或也
申進是

八月廿日 主神高探 大少坐

外務省 大少坐 申



別紙

寫濟

航海者之方告

横濱より南より少くは瀬戸内より少くは一個

瀬戸内を渡す

古渡橋と決裂し一くは瀬戸内より少くは一個

瀬戸内を渡す

山手 コシダクシと存す 古渡橋より南より少くは

より少くは瀬戸内より少くは瀬戸内より少くは

場は中央より南より少くは西より少くは

古方位相違す

日本建築方

アトヘンリー・ブロンソン

千八百六十九年

八月廿日

新天燈明堂候御おのり



3-2188

0407

寫濟

別録

航海家ノ市告

ミッドルチヤンル中世航海ノ便利ヲ爲ス國ニモ方

熱極武ノモ度ハ但ルヨリ好製ノ一ノ頂ニ就

テ所ル莫高ル水上モ如クノ名格アト

一ツモ黑白ノ二色を以テ國國數條を畫セ

テ地ヲカチフセテヒツセルメンスロックノ直南深ク

尤厚ノ海ナリ

一月ノ歳ノ額ト古熱極ノ南甲ト西ノ

イサキ岬ノ南トイサキ岬ノ北トイサキ岬ト

イサキ岬

ハミノ海ノ名ヲ以テシテミッドルチヤンル

海ノ上ノ海ノ名ヲ以テシテ

クシ岬ト此熱極ノ北ノ岬ト西ノ岬ト

珠島ノ岬ト北甲トイサキ岬ト南ノ岬ト

東ヒルセルメンズロックの熊標と由幸四段両方
より

古方位都中運

漢字の音譯を求むと欲する一熊
標と由幸一ケーブル
ニケーブルニ音ニケーブルニ音ニケーブルニ音ニケーブルニ音
至

千八百九十九年八月十日
熊標と由幸の由

日本郵政省
アルハンブール・ブロンソン

古熊標と由幸の由
熊標と由幸の由
熊標と由幸の由

3-2188

0410

NOTICE TO MARINERS.

Notice is hereby given, that a Buoy has been moored on the Northern extreme of the shallow to the Southward of Yokohama anchorage.

It is an Iron Buoy surmounted by a cage, and is in 4 fathoms of water.

Madarin Bluff bears from it, S. 15° E., the mouth of the Creek, S. 37° W. and the centre of the English Hatoba, S. 80° W.

All bearings are true.

By order

R. HENRY BRUNTON.

Engineer to Government of Japan.

Lighthouse Department, Benten,
Yokohama, August 5th, 1869.

3-2188

0411

NOTICE TO MARINERS.

Notice is hereby given, that two Buoys have been moored at the East of Simonoseki Straits, for the purpose of facilitating the navigation of the "*Middle Channel*."

Both Buoys are made of Iron and are surmounted by cages standing 10 feet above the water.

One is placed directly to the South of the Kanabuse or Fisherman's Rocks. It is painted with black and white rings, and is in 9 fathoms of water.

The summit of Mozi Hill bears from it, S. 41½° W., Isaki Point, S. 70½° E., and Kusi saki N. 30° E.

The other Buoy is placed on the shallow called "*Middle Ground*." It is painted red and is in 3 fathoms of water.

Kusi saki bears from it, N. 30½° W. the summit of the Island of Manziu; N. 42° E., Isaki point, S. 39° E. and the Buoy at Fisherman's rocks, S. 74° W.

All Bearings are true.

The deepest water through the Channel will be found by passing one cable and a half to the south of each buoy.

By order

R. HENRY BRUNTON.

Engineer to Government of Japan.

Lighthouse Department, Benten,

Yokohama, August 5th, 1869.

Captains of vessels are particularly requested to give information to the above signed, on their noticing any displacement, or the disappearance of these Buoys.

二〇日東京各回定

〇〇〇〇〇〇

寫濟

以成... 濟... 然... 事... 人... 下...

下... 事... 人... 下...

七月

寺島... 洋...

英... 公使...



前目文云

己
七月

大正五連名

魯ノ草葡瑞白丁

國ノ姓ノ世下

編者附言

別紙報告書前巻ニ付異文

百三十四

三ノ谷

ノリノリ

多治

大五

馬

子

大五

馬

馬

此は...

...

...

...

...

...

...

三ノ

...

英伸

三十九号

千八百六十九年

意	大	自	千
謝	下	字	八
禮	関	様	百
申	并	様	六
出	横	様	十
	濱	様	九
	潮	様	年
	標	様	九
	差	様	月
	送	様	廿
		様	五
		様	日
別		至	
紙		澤	
		卿	

封筒

3-2188

0416

Soloama, den 25^{ten} September 1864.

Herrn Generalen Grafen von 13^{ten} et 16^{ten}
de Gersching von Trazung in der Stadt von
Linnosfaki mit dem Namen von Soloama be-
treffend das ich die Ihre gefalt ge-messungen
mit beile mit Ihnen meinen Land für
die Mittheilung, für deren weitere Fortsi-
chung ich große Sorgen werde, auszusprechen.

Mit Achtung und Hochachtung,
Braum.

Der Gesellschaftsbrüder der Nord-tüpfen Landes,

die
die Minister der Antwärtigen Angelegenheiten,
Lawa die Samui Kyo kara no notu yoshi und
Terashima die Kii,
Gezellen,
in
Iwō.

去西曆十月十三日附之貴船
落掌其能之段の関并
横濱に於る瀬礁標被お
建の云々御報告の意
情に程難有存の右者
御来示に次才早速
為給布告了申の右奉
復の斯くは以上

十月十五日

獨逸部聯邦使

フオニブランド

澤外務卿

古島外務補

関六

國

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

二年

...

甲子年十月十日

二ノ福 十日

小島海印

野方五

馬

桂

大津

寫濟

去西曆十月十日附... 下ノ関平橋... 以... 為... 以上

十月分

櫻乙七...

伊勢... 岡下

八日

三子申

外務省

少佐

外務省

少佐

八日

〇

相刻久里候申暗想之候之取扱圖
案後新由府佛人等受之候之指揮
酒標的取是之案あり各商人等
酌量後申渡紙之布告之取扱

右案より一々其旨の扱文を
相承差進之候に候人由府より
信託の書布告と同様各商に
申渡方相成之候に候に候に候

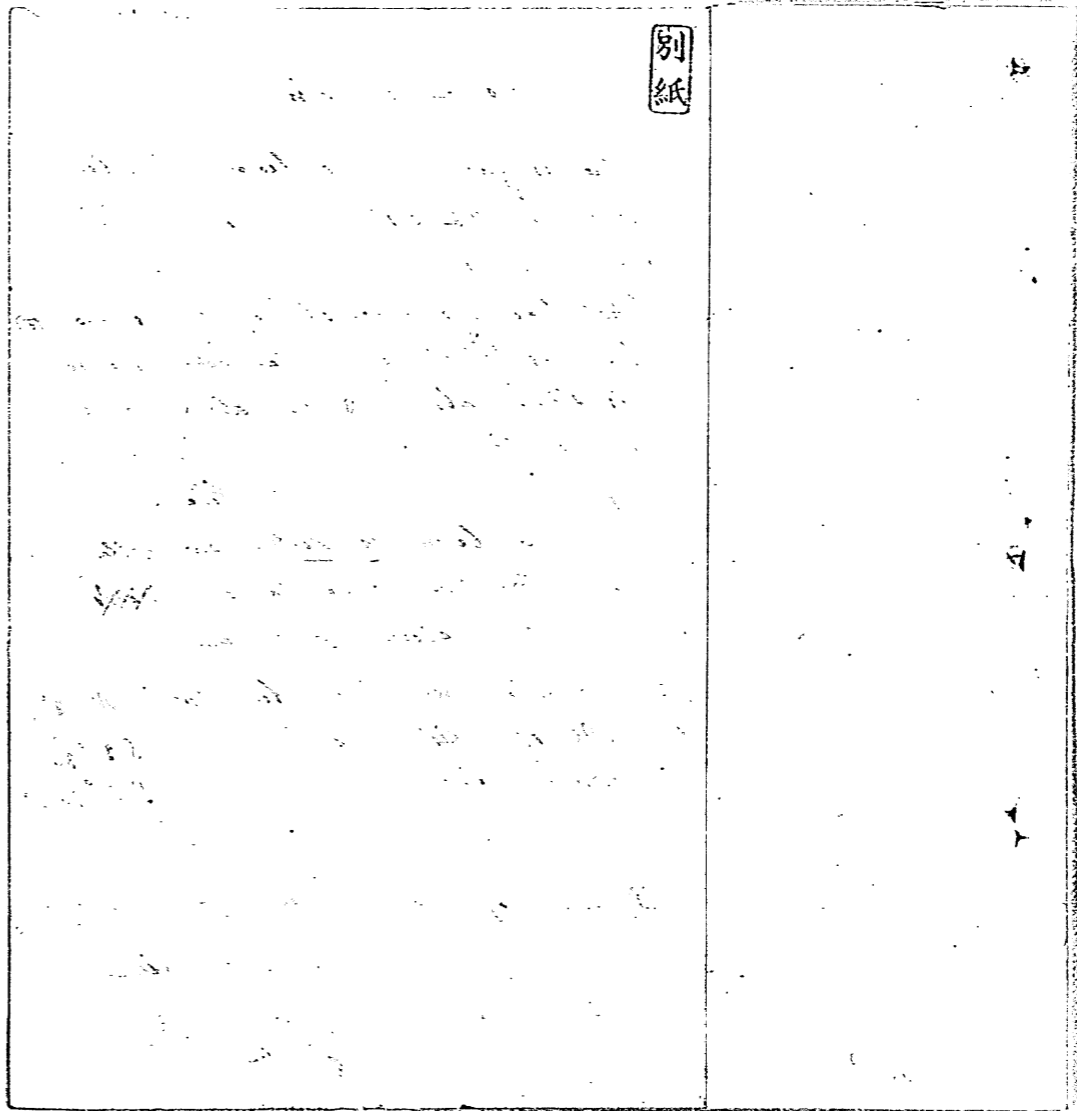
八月十九日

大少平

在神

外務省

大少平



3-2188

0422

Notice to mariners

Notice is given that a beacon has been put on the eastern end of the chain of Plymouth rocks (Ashka-sima).

This beacon is made of iron and surmounted by a spherical red painted cage whose top is standing about 23 feet above the level of the high water. It lies in ~~the~~ 2 feet of water at low tide.

The beacon is distant one cable from the two Plymouth rocks ~~that~~ that stand above the water.

The Kanouseki light house bears from it $N 78^{\circ} 41' E$
the middle of Ukisima island - - $S 32^{\circ} 30' E$
Kanyu point $S 50^{\circ} 30' E$

all bearings are true

By order of the Japanese government -

C. Shibasaki

Master of the Yokohama Dockyard.
8th 4th Dec 1869

Avis aux navigateurs

Une balise en fer a été placée à
l'extrémité Est de la chaîne des
rochers Plymouth (Abika Sima)

Cette balise est surmontée d'une cage
sphérique peinte en rouge, dont le sommet
est à 7^m⁰⁰ au dessus de la haute mer.
Il reste environ 0^m⁶⁰ d'eau sur le
rocher à basse mer.

La distance de la balise aux deux
rochers Plymouth qui ne sont jamais couverts
est d'une lieue.

De la balise on relève

- 1° Le phare de Kamonaki au N 7° 45' E
- 2° Le milieu de l'île Ukisima au S 32° 30' E
- 3° La pointe Kaneya au S 50° 30' E

Tous les relevements sont vrais

Par ordre du gouvernement japonais

C. Péribaudier

Directeur de l'arsenal d'Yokosuka

8^{me} 1869

別紙

佛文釋

航海家「ル」布告

高濟

一 プリムーツ「海鹿島」連礁の東絶頂の旗標
的成築立キリ

此旗標赤色なる。圓蓋成後より高潮
時其的頭水面より出。高よりスタート
ヨリ三途下朝の時最上水ノ深サ九六十センチ

ノートル三途島旗標プリムーツ西礁と距
九一箇索ヨリ三途但常ノ水に没スリキ
右旗標より観音崎燈臺を標的の北より東
七度四十分より當り浮島中央を南より東
三十二度三十分金谷岬を南より東半度
三十分より
右實測なり

日本政府の命を奉

横須賀製鉄所長

千九百零九年九月一日

千九百一十一年



別紙

寫濟

英文譯

海峽より示す布告

北度ブリモットの連礁海峽の東南に礁標
改設せり

善カ

右礁標を鉄を以て之を繋ぎ赤色を
塗りたる圓蓋を以て之を覆ふ其上端を
高潮の時水面止に出せりと九ニテ定

其下端を干潮の時水中に没せしむる
右礁標もブリモットの両礁より一福家
百ニテ尋と改

觀音崎燈臺を北礁標の北より七度
早ニテ東に偏^{カサヨ}能
海峽の中央を其南より二十ニ度二十分
東に偏り

金谷岬を其南よりみち度二十分東に
編り

新五知新相遠きい

右日本政府の命をきく及市共者也

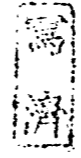
明治何年何月



横濱造船所印

西一千九百零九年九月八日 子出

二日申子卯日



相公之里侯仲之書是也暗標布告
之後亦布告文指之方付檢校
美進藤之申敬張兼知別檢校
美進藤之申取申之之後亦布告

市穀抄之申也

主神高門縣

二月七日 大少丞

外書有

大少丞

申

新存の付同の尋に交有る既先
被申寺急公の年而之御極可
扱の節も同の布告文も出
節新字紙も出申す付同
別同例も存布告の事
也係島字名も其後事也其情
見据同例のヤハシラルト方新字紙

江文政の事も其の事も其の事も
又字標字も先唯も其の事も
可扱申す通新字紙も布告文
出申す付同の事も其の事も
調の交文中候事也其の事も
唐止の事も其の事も其の事も
之の事も其の事も其の事も

東海最寄の通出達方の申渡
申渡の以の華山縣、再々
但し、右報に結之にあり
華山縣、善書に、右布告文
若道子金進延、成の河分あり
外、我為、此、概、凡、の、使、右、原、書、書
海、文、五、派、若、進、了、の、元、信、文、中

外務省の通達を以て付高ラント
引合、之、と、存、の、右、通、報、文、の、旨、を、

十月十三日

立神島川原
徳島県

外務省
山中

尚公華山外區著海牙中書
昔後之類一之類海山

3-2188

0435

十一月廿二日 神宮

十一月廿二日

大南

大南
大南
大南
大南

大南
大南

寫濟

皇心神元島...
善...
其...
南...

類

今...
本...

十一月廿二日
外務省

神多川...
...

別紙

布告

寫濟

一 本日より永らく燈明臺落成して神見元島
に於て仮燈明臺を設け日没より日昇迄
あまを照らす

一 神見元島を北緯三十四度三十四分二十秒より
イニウツチ偏東百三十八度五十七分十秒に在
り

顯濟

一 下田港をまへに六層を備りて六マイル我二里二十九丁

半余間を隔つ伊豆の岬を西に七十五層半を偏
りて五マイル我二里十三丁を距る是實測より

一 燈籠を高さ海面より八十尺を登る燈光十五
マイル我七里三丁を距り視る

一 燈明ハ一所に固定し普く水平面を輝
く

一 伊豆の岬に舟火を以て兼廢止す事

右日本政府の命に依り航海者及び布告

者也

一千八百九十九年第十月十日 我昭和三十二年十月十三日

於横濱

アムヘンリー プラントシ

十三年十月三日

臣州神見元島燈明臺各國布告文
五拾枚過日由且下處公使國古里下下事
不足并尚指五枚下尺部古由達書台神奈川縣
古早下古別古布告文指五枚古係古係古
古各也

三月十日

主神奈川縣
燈明臺

外幣有
市中

3-2188

0444

吉野

二ノ子

十

大原

正務

馬濟

馬濟
馬濟
馬濟
馬濟
馬濟

神皇正統記

國書院

十

馬濟

英佛

好名

外務

田文

馬濟

深河

コシ

マ

編者

別紙

別紙

航海者ニ布告書

一 檣濱港碇泊場ノ東南即チ本牧ヨリ
出張タル浅瀬ノ外南^面一箇ノ燈所船ヲ
後置セリ

一 此燈烟船ハ深サ十尋ノ所ニ後置シ赤
色ヲ以テ之ヲ塗り前柱ノ上ニ赤色ノ玉ヲ
掲ケリ

一 日没ヨリ日出マテ赤色ガ動ノ燈所ヲ
北ヨリ三十六フットノ高サニ掲ケ其
光線十マイルス 我四里ニテ
半十間余ニ達ス

一 本牧ノ鼻ハ燈所船ヨリ南三十三度西ニ
當リメンデリン カ村地内ニテ通
俗地ヲト唱ケル所 南五十三度
西ニ當リ塙割ノ口ハ西ニ當レリ是レ密
測ナリ

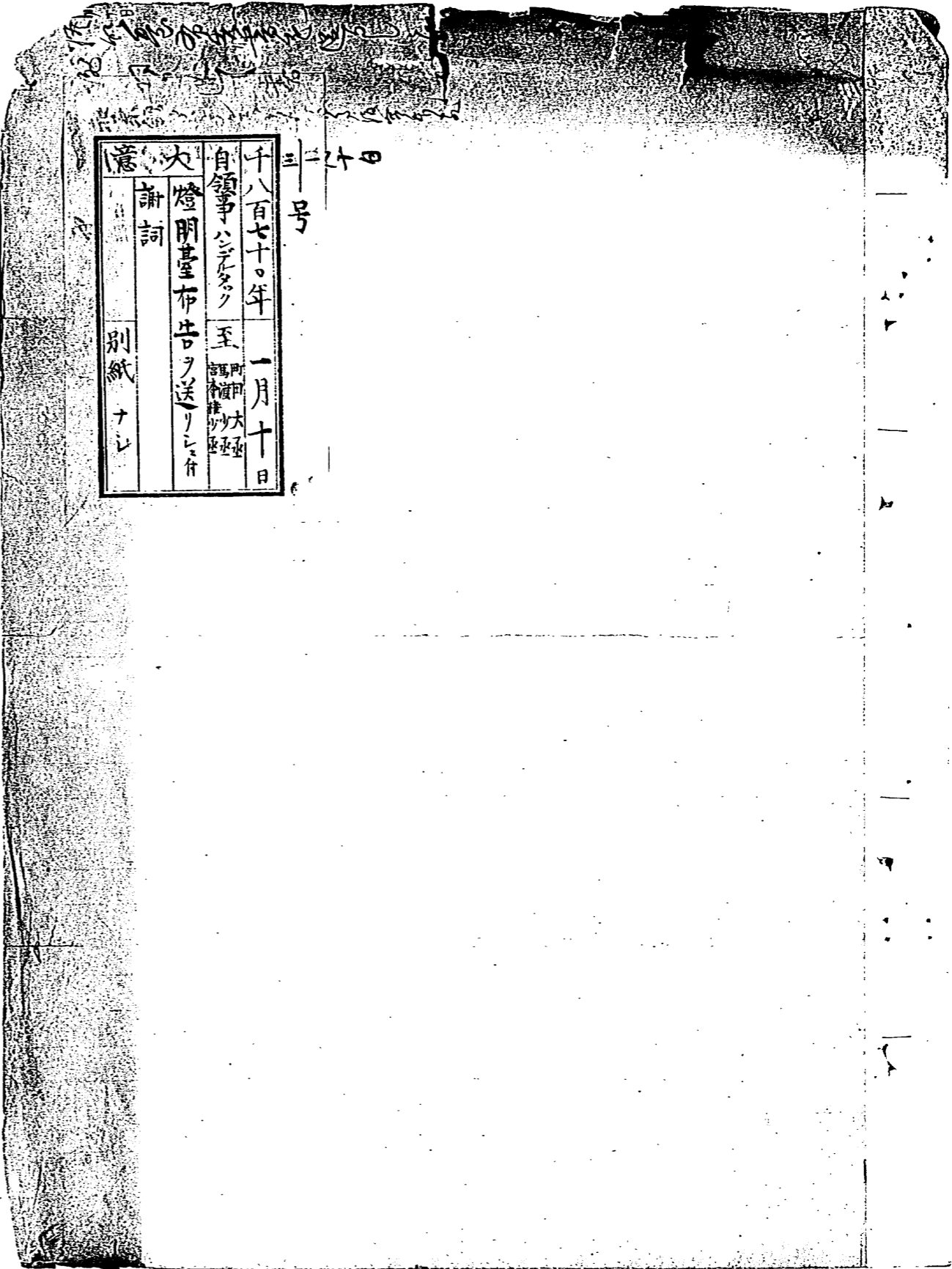


千八百九十九年十二月十一日
我己上
十九日
於橫濱船政事務所

日本政府

築造方

アルヘンリ、ブレントン



三十一日	千八百七十年	一月十日
自領事公署	至	大坂
燈明臺布告	送	リ
謝詞		
別紙	ナレ	

3-2188

0450

1876
千八百七十六年 頭三册

Kanagawa, 10 Januari 1876

Ik heb de eed de ontrouwt te
erkennen van Uddelgeth. mitsie tot 30^e dag des 11^e maanden
des daarbij geroegdes exemplars van een brief aan gevaranden
De toezending deser hydrographische gegerend, waarvoor
ik Uddelgeth. mijn besten dank betuig, wat mij hoegst aangenaam
en verzocht ik Uddelgeth. beleefdelijks te willen voortgaan
met mij exemplars te zenden van alle verdere berichten of de
verlichting of betakening der kusten van Japan behelking
hebbendes.

Met de meeste hoogachting heb ik de eed te gijn.
De Consul des Nederlanden
J. van der ...

Aan,
de Uddelgethongs Heeren
Maehida Guai mi Saijo
Maratani " " Shiojio
Meamoto " " Goro Shiojio
Sakai

存

若ノラト存之方終の存ナリ 而方

八十五歳而ナリ 吾 離^離と 留^留也

假^假と 誤^誤ナリ 終の存之 口ナリ 也

幸^幸ナリ 也

口ナリ 存^存ナリ

終の存之 留^留也

千七百七十年

末丁卯日 終の存

シ、千七百七十年

二年三月廿七日

寫濟

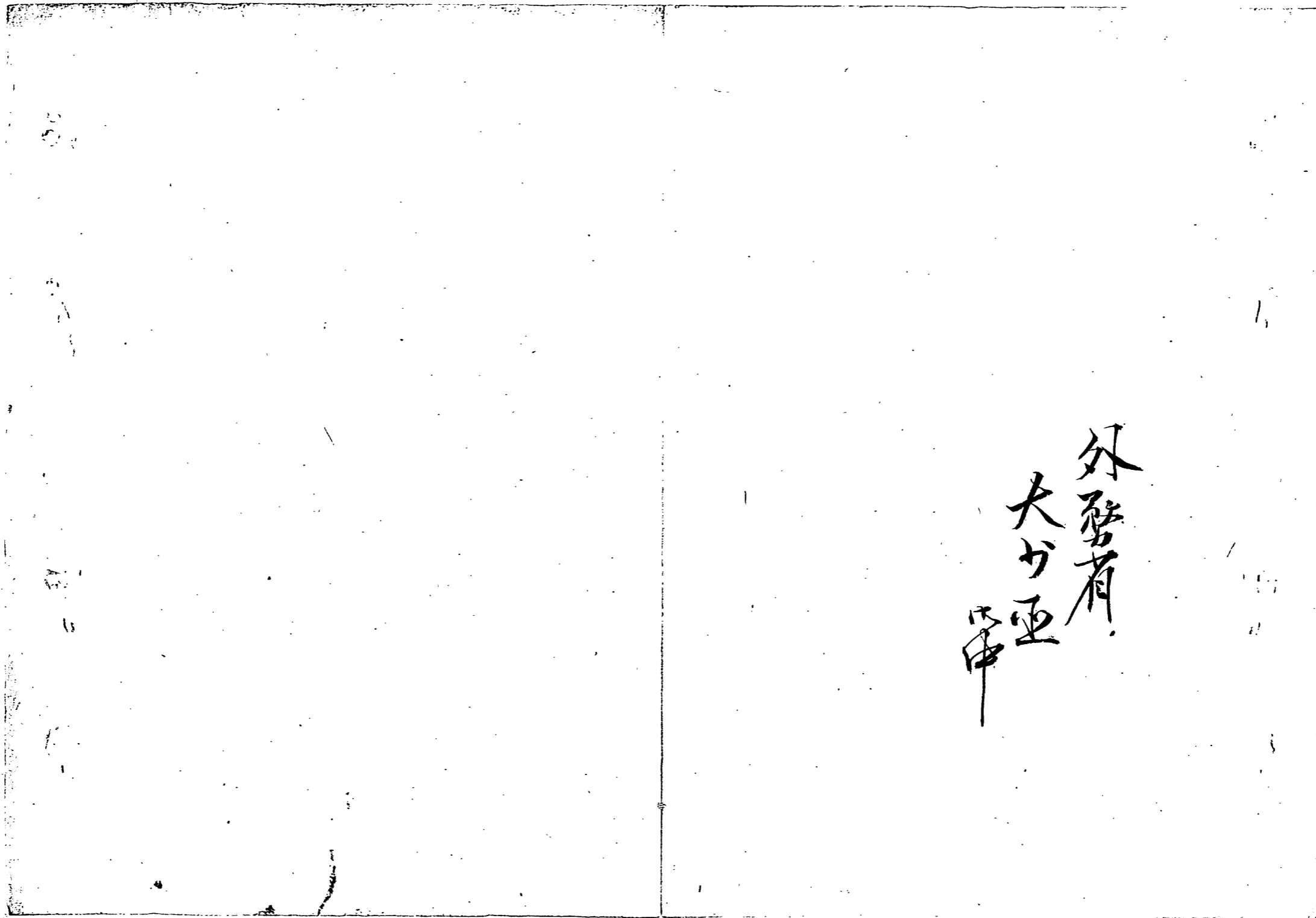
去月廿四日頃坂田出納控の房取
脚渡清地留書者等文は兼有御書
左様又指言付某等各國通商書
布告書係出納控より送付され候事
出納控より出納控に御書送付の事

類聚

美道一之今朝は清信候事一様事候
扱又此等御書を各取の御書に
との御書は御書に御書に御書に
御書に御書に御書に御書に御書に
申有一之御書に御書に御書に御書に
御書に御書に御書に御書に御書に

三月六日

丹次様御書



外務省
大分
中

3-2188

0457

